

令和5年度 日本文化史科 講座内容

講座場所 木曜日 市役所南館講堂 時間帯 午後1時30分～3時

回数	講義日	講師	講義概要項目
1	4	20 菊	文化の裾野を広げた随筆、日記。
2		27 菊	ひらがなで綴ったら思いが溢れ出た。『土佐日記』
3	5	11 菊	身近なものに新たな気づきをもたらした。『枕草子』
4		25 菊	変転を止めない世に私はいるのだ。『方丈記』
5	6	1 菊	時に文章は人の心に火をつける。『徒然草』
6		8 菊	激動の時代を生き抜いた人が来し方を語る。『福翁自伝』
7		22 菊	私の居場所はたったの六尺だが。…『病床六尺』
8		29 菊	日記は書き方だって自由自在。『ローマ字日記』
9	7	6 菊	自然の美しさにわが想いを重ねる。『武蔵野』
10		13 菊	懐かしい故郷の懐かしい人を訪ねる。『津軽』
11		27 菊	旅と人生が交錯する時生まれるもの。『何でも見てやろう』
12	9	7 菊	愛する人への想いを詠んだ歌日記。『建礼門院右京太夫集』
13		14 菊	新井白石が自分を見つめた。『折りたく柴の記』
14		28 菊	観察が雪に新たな命を吹き込んだ。『北越雪譜』
15	10	5 菊	静かで豊かな思索から随筆、日記は生まれる。『街道をゆく』
16		12 山村	日本の古典芸能 概説 能・狂言
17		26 山村	日本の古典芸能 概説 能・狂言
18	11	2 山村	日本の古典芸能 概説 能・狂言
19		9 山村	日本の古典芸能 概説 歌舞伎・文楽
20		30 山村	日本の古典芸能 概説 歌舞伎・文楽
21	12	7 山村	日本の古典芸能 概説 歌舞伎・文楽
22		14 山村	日本の古典芸能 概説 歌舞伎・文楽
23		21 山村	日本の古典芸能 概説 歌舞伎・文楽
24	6年	11 山村	日本の古典芸能 概説 舞楽・雅楽 その他
25	1	25 山村	日本の古典芸能 概説 大衆芸能 その他
26	2	1 深野	生業とムラ（村）－ 伝統漁業の事例からムラ社会を考える
27		8 深野	中央と地方、東と西－ 柳田國男『蝸牛考』と正月料理をもとに
28		22 深野	溜池と養魚－ 末永雅雄『池の文化』をきっかけとして
29		29 深野	日本文化の基層にあるもの－ 照葉樹林文化論が示すこと
30	3	7 深野	海の文化圏を考える－ たとえば伝統漁法「石干見」からわかること

※ 内容は変更する場合があります。